

令和5年度ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事業計画 (案)

I 育成講座の開催

基礎、保全、防災コースを各1回開催することとする。

令和4年度の状況を見ると、募集人員に対して保全、特に防災コースの応募者が少ない状況にある。

しかしながら、保全防災の上級コースは、老朽化する社会インフラの維持管理を行う上で不可欠であり、認定者の増が求められることから、協議会構成団体に対して積極的な働きかけを行うこととし、3コースを実施する。

- 1 第8回ME（基礎）コース
令和5年 6月上旬～ 7月中旬 募集人員 100名程度
- 2 第4回ME（保全）コース
令和5年 8月中旬～ 9月下旬 募集人員 50名程度
- 3 第5回ME（防災）コース
令和5年 10月下旬～ 12月上旬 募集人員 50名程度

II 講習会の開催（兼更新講習）

- 1 座学講習（一般へも開放）
 - ① 令和5年 4月下旬 募集人員 100名程度
 - ② 令和5年 11月下旬 募集人員 50名程度
- 2 現地講習（一般へも解放）
令和5年 11月上旬 募集人員 60名程度

III 法人化に向けた取組（人材育成事業の拡充）

基礎コースの認定者が協議会の初期の目標としていた500名を超えるなど、協議会の事業は初期段階から次のステージに移行しつつあり、前回の協議会では法人化に向けて人材育成事業の拡充の必要性和重要性が議論されたところである。

また、少子化に伴う人材不足により、建設産業への入職者は専門知識のない者も多く受入れるなど多様化しており、入職後の教育は喫緊の課題となっている。

このようなことから、技術者の各段階における人材育成事業の展開を図るとともに、事業拡充に伴う法人化を進めていく。

IV 協議会の深化に向けた取組

1 「(仮称) ふくしまME認定者の会」の設立支援

令和4年度に、活動内容や規約等について検討を行ったところであり、設立に向けて支援する。

活動内容は相互交流による情報交換、研修会の開催、社会貢献などが考えられており、活躍の場の母体ともなることから、連携を図っていく。

2 講師の育成確保

①講師の育成

保有資格として技術士の他に、保全関係においては「一級構造物診断士」など保全、防災それぞれに資格を設定し、ME認定者を講師として育成する。

②講師の位置付けの明確化

講師の位置付けを明確化し、やりがいを醸成するために、以下の取り組みを継続して行っていく。

- ・委嘱状の交付
- ・講師一覧のホームページへの掲載
- ・企業トップへの訪問御礼
- ・長期（5年以上）の講師協力者及び企業等への感謝状の贈呈

3 継続検討課題

① 市町村の技術職員の育成等について

市町村職員のME講座受講について検討してきたところであるが、当面、技術職であり管理施設数も多い市の職員について、県と連携して本講座の受講を積極的に促していくとともに、町村職員の育成についても、引き続き検討していく。

② 他県のME協議会との連携

令和4年度においては、ME認定者の会の設立に向けて、愛媛MEでの聞き取りを含め他県のMEの状況を調査したところであり、また、岐阜ME主催のシンポジウムへの参加も予定しているところである。

令和5年度についても、他県のMEの活動や協議会としての方向性等を確認し、今後のふくしまMEの取り組みに活かしていくべく連携を図っていく。

③ その他

地域のインフラは地域で守る、との考えの下、社会インフラのデータベース化のあり方や管理者へのアドバイザー制度について、引き続き福島県建設業産学官連携協議会での取り組みを確認しながら、関連する内容について検討していく。